

【お問い合わせ】『募金箱設置登録申込票』のいずれにもご使用いただけます。  
ご希望の項目に☑を入れてご利用ください。必要事項をご記入の上、メールに添付して送信していただくか、FAX 又は郵送にてお送りください。詳しい資料をお送りします。お電話でのお問い合わせもお待ちしています。

**■ お問い合わせ** 下記項目からお問い合わせ内容をお選びください。 ※複数選択可

- 法人会員
- イベント依頼
- 個人会員
- 介助犬総合訓練センター団体視察
- 寄付
- 身体障害者補助犬同伴ステッカー(希望枚数 枚)
- 遺贈
- 介助犬支援自動販売機設置
- 募金箱設置
- その他( )

●連絡先をご記入ください。

ふりがな／ 貴社名／	ふりがな／ ご担当者氏名／
〒 郵送先	
TEL /	FAX /
e-mail /	

**■ 募金箱設置 登録申込票**

募金箱の設置にご協力いただき、誠にありがとうございます。  
こちらの登録申込票に必要事項をご記入の上、ご返送ください。 ※は必須項目です。

※募金箱設置場所 (施設名・店舗名など)	ふりがな／	※募金箱希望数
※業種		個
※ご連絡先	〒 TEL / FAX /	
※管理責任者お名前		役職
e-mail		※メールリストに登録しますか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
設置場所の ホームページ URL		※当会のホームページに店名を 掲載(リンク)しますか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
備考		

TEL **045-476-9005** 郵送先 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番9号  
※電話対応時間：平日 9時～17時 新横浜フジカビル 3F

FAX **045-476-9006** e-mail **info@s-dog.jp**  社会福祉法人 日本介助犬協会



# 介助犬

1組でも多くの介助犬ペアを誕生させるために、継続的なご支援をお願いします。

CONTENTS

- ご挨拶 介助犬とは
- 日本介助犬協会の活動
- ご支援方法

 社会福祉法人 日本介助犬協会

本部  
〒222-0033  
神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番9号 新横浜フジカビル 3F  
TEL 045-476-9005 FAX 045-476-9006

介助犬総合訓練センター ～シンシアの丘～  
〒480-1311  
愛知県長久手市福井1590-51  
TEL 0561-64-1277 FAX0561-64-1278

E-mail info@s-dog.jp ホームページ <https://s-dog.jp/>

## ご挨拶

「介助犬」にご関心をお寄せいただき、ありがとうございます。  
夫、橋本龍太郎は、「足に障がいがあった亡き父が介助犬の存在を知っていたらどんなにか欲しがっただろう」という思いから、身体障害者補助犬を推進する議員の会(補助犬議連)の会長として尽力し、2002年、身体障害者補助犬法(以下、補助犬法)を成立に導きました。

以来、10余年が流れましたが、補助犬法も介助犬の存在も未だに認知度が低く、介助犬と共に店舗や施設、病院を利用する際に同伴拒否を受けることが多々あるのが残念な現状です。

介助犬は手足に障がいのある方の日常生活をサポートするだけでなく、精神的な支えとなり、新たな挑戦をする意欲を引き出す力を持っています。

一人でも多くの方に介助犬のことを知っていただき、犬と共に幸せになれる方々を増やす日本介助犬協会の活動にご賛同、ご支援を賜りますことを心よりお願い申し上げます。



会長 橋本 久美子  
(元内閣総理大臣 故橋本龍太郎氏夫人)

## 介助犬とは

手や足に障がいのある方の自立と社会参加促進のために日常生活動作を助けるようトレーニングされ、補助犬法により認定を受けた犬をいいます。

私たち日本介助犬協会は「人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざして」をモットーに、日本初の介助犬専門訓練施設「介助犬総合訓練センター～シンシアの丘～」を拠点とし全国の介助犬使用者・介助犬希望者へ向けて介助犬育成事業を行っています。

介助犬は障がいのある方の暮らしや心を支える大切なパートナー

## 日本介助犬協会の活動

### 介助犬の育成

介助犬は、手や足に障がいのある方一人ひとりの病気や障がいに合わせてトレーニングされ、その人が必要としている作業を行います。医師や理学療法士、作業療法士などの医療専門家や社会福祉士とチームを組み、介助犬が行う作業内容を確認しながらトレーニングを行っています。

良質な介助犬を育成するために、海外の補助犬育成団体とのネットワーク、獣医師、大学病院などの協力を得て、良い犬の繁殖に力を入れる取り組みを行っています。



### 介助犬の普及・啓発

日本全国で活動している介助犬の数はわずか70頭弱。介助犬の社会的認知度がまだまだ低く、介助犬と暮らすことで生活が豊かになると考えられる障がい者ご自身にも介助犬が知られていない現状があります。日本全国で介助犬に関する講演・イベントを行い、介助犬の普及と啓発に努めています。

#### 介助犬の作業の一例



●落としたものを拾う



●緊急連絡手段の確保



●ドアの開閉



●靴を脱がせる



●歩行介助

## With You プロジェクト & Dog Intervention(犬による動物介在介入)

年間数十頭の犬たちを訓練しますが、介助犬に適性のある犬を慎重に見極めることを大切にしています。介助犬には向かない犬たちにも、それぞれの場所で多くの人を笑顔にする力があります。公益的な活動として、一人でも多くの方が犬と共に笑顔あふれる日々を過ごせることを願ってさまざまな活動に取り組んでいます。

### With You プロジェクト

障がい者・障がい児の方がいるご家庭に対し、人と犬、両者の個性を丁寧にマッチングして犬を譲渡する取り組み(with youプロジェクト)を行っています。



### Dog Intervention

「犬による動物介在介入」を言います。触れ合いを得意とする犬連れでの病院訪問や、医療スタッフからの依頼を受けて動物介在活動・動物介在療法を行っています。手術室やターミナルケアなどあらゆる場面で犬の力を活用するDog Interventionで医療のお手伝いをしています。



## 日本介助犬協会の活動は寄付に支えられています。

介助犬は障がい者へ無償貸与されています。

介助犬として認定されるまでには、1頭につき約240万円の費用がかかります。ただし使用する人の障がいの程度によって合同訓練や継続指導の日数が異なり、進行性疾患の方の場合はさらに費用がかかります。

【日本介助犬アカデミー-介助犬育成費実態調査2005】

区分	標準期間	費用(平均)
1 導入期間(入手、パピーホーム)	12ヶ月	444,284円
2 候補犬選定期間(適性評価)	1ヶ月	24,892円
3 基礎訓練、介助動作訓練期間	9ヶ月	485,026円
4 合同訓練期間	80日	1,281,798円
5 認定	—	60,343円
6 継続指導	8年	107,800円
合計		2,404,143円

※身体障害者補助犬法により基礎訓練は60日以上、介助動作訓練は120日以上、合同訓練は40日(在宅10日)以上行うよう定められています。

### 皆さまからのご寄付や募金でできること

#### 10,000円のご支援で

●訓練犬1頭のワクチン接種と狂犬病の予防接種ができます。

#### 50,000円のご支援で

●25頭のパピーホームのお宅に訪問指導に行けます。

#### 100,000円のご支援で

●犬用ケージが5個購入できます。

#### 200,000円のご支援で

●訓練用車いすが1台購入できます。

人にも動物にもやさしく楽しい社会、介助犬が当たり前になる社会を目指して、介助犬の普及、認知度向上にご協力ください。

## ご支援方法

### 協働企画・イベントの開催

■企業・団体のイベント・大会・例会などで当会のブース出展やデモンストレーションの場を提供してください。※費用についてはご相談ください。

#### ブースでは

●リーフレットの配布 ●募金活動 ●チャリティーグッズの販売 ●パネル展示 ●PR犬とのふれあい などを行います。

■企業・団体の活動とコラボレーションするご提案をお待ちしています。

#### 例えば

●チャリティー寄付つき商品の企画 など

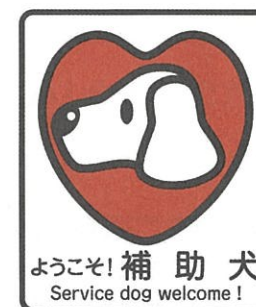
### 街頭募金活動の実施、活動場所の提供

■駅前やイベント会場で介助犬育成のための募金活動やお手伝いをしてください。

■募金活動ができるよう、多くの方が集まる場所を提供してください。

### 身体障害者補助犬 啓発ステッカーの貼付

■補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)の同伴、啓発のため企業・団体のエントランスや店舗の入口に貼付ください。



無料でご提供しています。お気軽にお問い合わせください。

身体障害者補助犬法により盲導犬・介助犬・聴導犬は同伴できます。ペットは不可。  
(このシートは「シニア基金」で制作しました)

### 介助犬受け入れセミナーの開催

身体障害者補助犬法により、介助犬は飲食店や病院などの施設や公共交通機関などに同伴することが可能になりましたが、未だに同伴拒否が絶えません。

■経営者や社員の皆さまに介助犬の同伴を正しく理解していただくためのセミナー・講演を行っています。

■介助犬総合訓練センターへのご視察も受け入れています。(原則20名~60名ほど) ※費用についてはご相談ください。



## 会員

協会サポーターとして継続的な介助犬のご支援をお願いしています。

**法人・団体会員** 年額1口 50,000円

### 特典

#### シンシアの丘にネームプレートを掲示

シンシアの丘エントランスにネームプレートを掲示します。

#### ホームページ等でご紹介

支援企業・団体として、当会ホームページや会報誌(介助犬通信)、SNS等でご紹介します。

#### 「認定報告会」へご招待(年1回開催)

新しく使用者となられた方をご紹介する、会員の皆様への感謝を込めたイベントです。

#### 会報誌ご送付(年4回発行)

会報誌(介助犬通信)では、訓練犬達の様子や協会の行事など様々な情報をお知らせしています。



### お支払い方法

\*法人・団体会員：郵便振替・銀行振込・クレジットカード決済・自動口座引き落とし(継続会員のみ)

### 税制優遇措置

当会は特定公益増進法人に該当し、会費は減免措置の対象となります。

#### ● その他、個人会員制度もあります。

バビー会員	年額1口	3,000円
シンシア会員	年額1口	10,000円
マンスリー会員	月額1口	1,000円

▶P7のお問い合わせフォームをご利用ください。

## ご寄付

時期も金額も選ばず、ご寄付いただけます。

### このようなご寄付の方法があります

#### マッチングギフト

社員様が社会・環境団体に寄付を行うことを支援する取り組みです。社員様からのご寄付と同額を会社から上乘せてご寄付をいただく方法です。

#### 株主優待制度などでのご支援

株主優待特典の一部相当額をご寄付いただく方法です。

#### 物品のご寄付

- 洗濯洗剤、その他
- 未使用切手、官製ハガキ、書き損じの官製ハガキ、各種商品券 など

### お振込み口座のご案内

【金融機関支店名】三菱 UFJ 銀行 藤ヶ丘支店  
【口座名】社会福祉法人 日本介助犬協会  
【口座番号】(普通)0215568

【金融機関支店名】横浜農業協同組合 小机支店  
【口座名】社会福祉法人 日本介助犬協会  
【口座番号】(普通)0016578

※お振込みいただいただけでは本人確認がとれず、領収書の発行ができませんので、お振込み後、必ず当会へご連絡いただけますよう、よろしくお願い致します。

**税制優遇措置** 当会は特定公益増進法人に該当し、ご寄付は減免措置の対象となります。

▶P7のお問い合わせフォームをご利用ください。

### ご遺贈によるご寄付の方法もあります

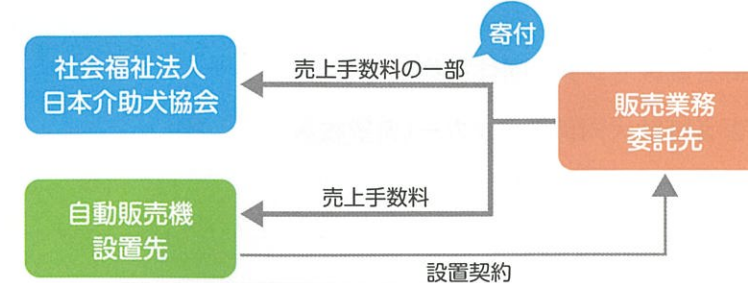
人生の集大成として、遺贈寄付を通じて社会貢献を考える方が増えています。関心がおありの方は本部までお問い合わせください。(TEL 045-476-9005)



感謝と敬意を表するためシンシアの丘に遺贈プレートを掲げています。

## 支援自動販売機の設置

売上手数料の一部が寄付される自動販売機の設置をお願いしています。



▶P7のお問い合わせフォームをご利用ください。

## 募金箱の設置

募金箱を常設で置いていただけるお店や施設、病院などを募集しています。お店のレジや受付横などに募金箱を置いていただくことは介助犬の育成だけでなく、介助犬の認知度向上にもつながります。



### 設置条件

- ①店舗など多くの人目に触れる場所に設置してください。
- ②連絡窓口として、管理責任者をご選任ください。
- ③募金は1年に1回お振込をお願いしています。
- ④譲渡・個人所有・売買は禁止しております。

### サイズ

- 募金箱 横15×奥行き12×高さ20cm (リーフレット差込時の高さ30cm)
- ポスター B4(25.7×36.4cm)

▶P7の募金箱設置登録申込用紙をご利用ください。

## チャリティーグッズ購入

オリジナルグッズをご購入いただくと、売上の一部が寄付となります。当会ホームページ 介助犬チャリティショップをご覧ください。

